

蒲郡 (あいちけん がまごおり)

名古屋でひと仕事終わったら新幹線で東京にまっすぐ帰るのもなんだかもったいない…という時に、贅沢な一泊と朝の散歩をプレゼントしてくれるのが蒲郡クラシックホテルです。

蒲郡は名古屋からJR東海道本線の快速で40分。蒲郡競艇とテーマパークのラグナシアが有名ですが、ブリージャーWalkとしては、蒲郡クラシックホテルに1泊して、目の前にある天然記念物の景勝地・竹島を散歩するのがBEST。

ホテルの前身は大正〜昭和にかけて多くの文人達が利用した料理旅館「常盤館」で創業1912年(明治45)。菊池寛の「火華」など多くの文学作品に登場します。常盤館に併設して1934年(昭和9)に蒲郡ホテルが完成。当時では名誉な鉄道省の国際観光旅館に認定されました。戦中は日本陸軍病院に提供して営業停止。戦後は米軍により接収されましたが、再開後は小津安二郎の「彼岸花」、五所平之助の「猟銃」、ドラマ「Yの悲劇」などのロケに使用されました。

1980年(昭和55)には経営悪化に陥り蒲郡市へ売却。87年には国土計画に売却されて蒲郡プリンスホテルとして再オープン。華麗なる一族のロケに使われ、近代化産業遺産に認定。2012年(平成24)に呉竹荘グループに譲渡されて現在の蒲郡クラシックホテルに改名されました。



海岸から竹島

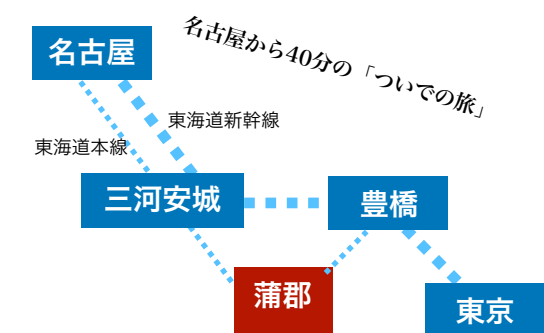


竹島からホテル

## クラシックホテルの贅沢 愛知県 蒲郡



蒲郡クラシックホテルに一步入ると、建築の重厚さに圧倒されます。このDININGでDINNERを食べずにどうする…と、名古屋で接待飯を済ませていたのが悔やまれましたが、翌朝、ダイニングでとる朝食の贅沢さは格別で悔しさは吹き飛びました。運良くテラス席をいただいて、豪華な食器で、海をみながら、オムレツをいただきました。ホテルは高台にあり、海側の部屋からは庭越しに海が広がっています。その庭も大きく立派で、3000本のツツジがピンクや赤の花を咲かせます。海岸に降りて長さ358mの棧橋を渡れば、そこは景勝地・竹島。小さな島には、日本七弁財天のひとつ「八百富神社」があります。橋を気持ちよく渡って、階段を上ってお参りをし、島を一周巡ってみればブリージャーWalkの贅沢を満喫できます。



名古屋から蒲郡まではJRと名鉄の二つの選択肢がありますが、名鉄は名古屋本線〜名鉄西尾線、名鉄蒲郡線をつなぐので時間が掛かります。JRは東海道本線の快速で40分ほど。蒲郡駅から蒲郡クラシックホテルまではタクシーで5分、歩いて20分。

蒲郡クラシックホテル <http://www.classic-hotel.jp>